

～ 今年で2年目！ ～

かん でん じき まき  
「乾田直播」

観察日記

その1

畑状態の田んぼへ直接「もみ」を播いて稲を栽培する方法



今年も2経営体が乾田直播を行います！

昨年、試験実施した大分市の(農)国分と(農)アグリ宗方が、今年から本格的に取り組めます！  
今年も、大分市での播種適期「5月中～下旬」に播種作業を行いました。

- ・ 5月17～19日( (農)アグリ宗方:大分市下宗方)
- ・ 5月22～25日( (農)国分:大分市国分) に播種完了。

「乾田直播」の記録(準備～出芽始めまで)



事前の播種機調整

播種機には、昨年に引き続き「麦用のドリルシーダ」を利用。品種に応じた播種量、施肥量となるよう調整しました。

今年は、Nだけでなく、P、Kも配合し試作した乾直専用肥料を使用しています。

なお、種籾はテクリードCとスミチオンで消毒したものを使いました。



(農)アグリ宗方の皆さん

播種開始前の記念写真



播種作業(アグリ宗方)

ほ場は、連たんした2つのブロック(約1.7haと約0.9ha)にしました。

作付品種は、あきまさり、クサホナミ、たちはるか、の3品種、合計2.6haです。



播種作業(国分)

作付品種は、クサホナミ4ha。

昨年の経験を活かし、水の確保が容易なほ場を選定。さらに、冬作には麦をほぼ100%作っているのので、予定ほ場は裸麦にするなど、計画的に準備を進めました。

裸麦の収穫後、大急ぎでほ場準備し、適期播種に間に合わせました！

(隣の裸麦の畑はまだ収穫前です(^\_^))。



除草剤散布

雑草対策のため、播種後速やかにサターンバアロ乳剤を散布(必要に応じてラウンドアップを混用)。



漏水防止作業

漏水防止と発芽促進のため、麦踏みローラーによる鎮圧を実施。畦塗りも行います。



播種後6日

播種後ほとんどまとまった降雨がありませんでしたが、土の中で芽が伸び始めています。



播種後12日

トラクターの「わだち」跡で出芽しているものが見られ始めました。

来週(6/4の週)には芽がすじ状に出揃うハズです！

